

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無記名	事業所対応・状況・工夫
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	95%	5%			人数が多くなった場合は部屋を分けて遊んでいる
	②	職員の配置数や専門性はあるか	95%	5%			人員基準として児童指導員を2名常勤として配置し、さらに保育士を1名加えて支援を行っております。
	③	事業所の施設等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	89%	11%			運動系から知識系など様々な分野の指導員を配置しております。事業所が2階にあり、エレベーターはありませんが、事業所内は、手すりや段差がないような構造になっております。また、状況によって、肢体不自由な方も受け入れております。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%				6ヵ月に1回以上の頻度で個別支援の見直しを行っております。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%				曜日などで固定されない様にプログラムを構成し、利用者に様々なプログラムを経験でき、月ごとに新しい内容を提供しています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいがない子どもと活動する機会があるか	63%	26%	11%		現在は行っていませんが、高齢者との交流は定期的に行っています。コロナの状況にもよりますが、他事業所と合同での企画は行っていきたいと考えています。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				個別支援計画について面接時に丁寧に説明し、イベントなどは、タイムスケジュールなどを事前にお知らせしております。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				利用の様子は、連絡帳でやり取りしております。特記事項については、送迎時に直接お話をしたり、電話で情報共有を行っています。
	⑨	保護者に対して面倒や育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				学校や家庭での様子を事前に把握した状態で、半年に一度必ず面談を行っております。事業所以外での課題に対しても助言しております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	58%	37%	5%		・現在でも行っているように保護者様同士が交流できるような機会を今後も増やしていきたいと考えております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	95%	5%			・今後も苦情には、真摯に迅速かつ適切に対応していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				保護者様には、連絡帳や電話などを活用し、情報伝達として、メール・電話・マチコミ・FAXを使い、伝達漏れやミスがないように心がけております。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概念や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発言しているか	100%				月に1回ひまわりキッズ通信を発行しております。自己評価は有限会社ひまわり介護のホームページで公開していきます。
⑭	個人情報に十分注意しているか	100%				利用者様の情報は、事業所で厳重に保管しております。個別支援会議の際には、保護者様に許可を頂いてから個人情報を使用させて頂いております。	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知説明されているか	89%	11%			・緊急時・防犯・感染症マニュアルは作成して、事業所で掲示してあります。コロナもありますので今後はより一層保護者様にも周知していただけるように取り組んでいきたいと思います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%				年に2回（地震・火災）を想定した避難訓練を全利用者を対象に実施しております。また、防犯センターの見学や非常食の実食など常に災害に備えられるように心がけております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	95%	5%			通所を毎回楽しみにしている、事業所の支援や対応に賛同しているという答えを多く頂きました。利用者様の悩みや不安は保護者と共有し、今以上に子どもたちが安心して、成長に繋がるプログラムやイベントなどを創意工夫をしていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%				

【今後のひまわりαについて】

様々なプログラムを通してお子様が通所を楽しみにしている事や支援について満足をして頂いてること、誠にありがとうございます。今後も事業所で過ごす短い時間の中で少しでも苦手を克服、また、できる事はより一層伸ばしていきたいようにスタッフ一同精進していきます。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			プログラムを利用者状況に合わせて集団支援や少人数での取り組んでいます。外遊びで自由に遊べる機会を設けています。
	2 職員の配置数は適切であるか	50%	50%		人員基準を満たした上で、適切な人員配置を心がけております。専門性の育成や障害特性の理解など研修を行っています。日によってはスタッフの人数が少ないと感じる事もあるので今後は改善していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%		50%	事業所が2階にあるため、車椅子の受け入れが出来ません。活動スペースは、段差や障害物もなく小さいスペースを利用者状況に合わせて活用しております。また事業所の階段が急な為危険行為がないようスタッフを配置しております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	25%	25%	利用者状況の事前ミーティングと反省会を行っています。様子や改善点記録し、一週間に一度全体ミーティングで情報共有を行っております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		年に1度アンケート実施し、保護者様の満足度や希望等を把握しています。それを踏まえて支援方法やプログラム等に反映しております。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	25%	50%	25%	毎年3月に実施し、5月までに前年度の自己評価表を事業所のホームページにて公表しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		25%	75%	実施していない。今後法人として行うことがあれば検討していきたい。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25%	50%	25%	事業所の研修は、年間スケジュールを通して、定期的に行っております。従業員のスキルによって外部研修に参加する機会を設けております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			毎回利用者状況や支援内容を援助記録書に記録します。利用者のニーズと援助記録書を総合的に見て、様々なスタッフの意見を交換しながら支援の方針を作成しております。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%		25%	利用者の状況やニーズがわかりやすいような独自のアセスメントツールを使用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			プログラムごとに担当者を中心に立案しています。内容については、ミーティングを通して、次月の内容を立案・実行しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			プログラムは、子どもの状況やニーズに合わせて立案しています。同じプログラムを複数利用する方は、内容を変更したり、より高度な作業に挑戦して頂いています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			長期休みには、個別課題を保護者様と確認し、毎回取り組める時間を設けています。進捗状況によって、新たな課題を追加したり、設定を見直すこともあります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			平日は、毎日プログラムを用意しています。個別活動は、時間や利用者状況を見て、本人のペースで取り組んでいます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			事前ミーティングを必ず実施し、担当や流れ、利用者状況、引き継ぎ事項などを確認しています。送迎などで参加できない職員には、事前に連絡事項を伝達しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			反省会を必ず行い、利用者状況や気づき等を日誌に記録しています。振り返りを通して、次回への対応や対策を立てています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証・改善につなげているか	100%			利用者の変化や様子等を援助記録書記録し、情報は事前ミーティングや反省会で共有しています。気になる点は、保護者や関係機関等と相談・連携等を行っています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			事前に保護者に質問票を記入してもらい、学校・家庭等での様子から個別支援計画書を立案しています。作成前に支援会議を行い、従業員と情報共有し、課題や目標を設定します。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	50%	25%	25%	個別支援では宿題や個別課題を行い、生活訓練や制作、交流会など1年を通して成長するプログラムを提供しています。プログラムの内容は、要望や利用者状況を見て、立案しています。	

関 係 保 護 者 の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	25%	50%	25%	児発管又は管理者が原則参加しています。会議に参加する前に事業所内で情報共有しています。今後は担当直接指導員も参加していきたいです。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			児童の様子によって学校の先生との情報共有のために保護者を交えたカンファレンスを実施しています。また送迎の時間変更なども随時学校に連絡を取り対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		75%	25%	現在該当する方はいませんが、てんかん等をお持ちの利用者の担当医や対応マニュアルは、保護者と相談して従業員と情報共有しております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		50%	50%	利用前に面接を行い、就学前の情報を頂いています。必要に応じて保育園や関係機関の支援者とカンファレンスを行うこともあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		50%	50%	現在年齢的に卒業生がまだ出ておりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		25%	75%	外部研修として専門性の高い研修に参加しています。利用者の状況に応じて、研修や助言を頂けるように専門機関と連携していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		25%	75%	保育園交流や高齢者交流を実施しています。また、公共施設等を利用し、一般の利用者と同じように利用しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	25%	25%	50%	地域での研修や協議会には参加しています。特に放課後等デイサービスの連絡会には、積極的に参加して学ぶだけでなく他事業所との繋がりを築いています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者とは、連絡帳で様子や支援内容を報告しています。重大な出来事は、直接お話や電話をしています。小さな出来事も共通理解になるように心掛けています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		50%	50%	保護者には、接し方や対応方法などのアドバイスをしています。家での困りごとや約束事は、児童も含めて話し合い、取り組めるように支援しています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に丁寧に説明するよう心掛けています。利用について変更を求める場合は、事前にアンケートを取り、意見を参考にしながら、書面でお知らせしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			学校や家庭の様子を聞き取り、それを踏まえた上で半年に一度は面談を行っています。緊急性の困りごとにも即時対応出来るように心がけていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25%	25%	50%	保護者会は行っていませんが、保護者会等の要望が多くなりましたら開催します。今後は、保護者が参加するプログラム等を今後は検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情や事故に対して窓口を設置しております。発生時には、マニュアルに沿って速やかに真摯に対応します。重大な苦情や事故は、書面ですべて利用者に周知します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月に一度ひまわりキッズα通信として日頃の様子を配布しております。今後は、保護者が日頃の様子が見れる機会を設ける予定です。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			保護者には、契約時に個人情報の使用同意書、従業員には個人情報の誓約書を交わしています。個人情報は、支援会議のみ使用させていただいております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			利用者の障害特性に合わせて伝達手段を変えています。ホワイトボードや絵カード、サインなど伝達しやすいように創意工夫をしています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	25%	25%	現在、地域住民と関わる機会は主催しておりませんがお祭りや学園祭など地域行事に参加しています。今後も地域行事には積極的に参加していきます。	
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	25%	50%	25%	各マニュアルは、研修を通して確認しております。変更等発生した場合は、最新版を保護者へお知らせしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年に2回、全利用者が参加出来るように、地震・火事を想定した避難訓練等を行なっています。非常事態に備えて非常食を体験してもらう予定となっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25%	50%	25%	虐待防止については、年間研修で全職員が参加しています。日頃より、利用者の様子や身体状況を確認し、虐待が早期発見に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	75%		25%	現在、身体拘束を行う事例はありません。保護者・事業所が双方で身体拘束が必要と判断した時は、事前に面談し、個別支援計画を作成・同意を得た上で、実施します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			契約時にアレルギーの確認をしています。アレルギーがある方は、医師からの指示書を作成し、それに沿って食事提供します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			反省会でヒヤリハットの情報共有をし、今後の対策を話し合っています。研修を通して様々な事例より対応方法を身に付けていきます。